

# MORIHOSHI 盛りまし 通信

2号 2023.1

盛岡という星で BASE STATION ができること 起きること 会える人が ふんわりわかる プリーペーパー

もりほし通信 MORIHOSHI NEWS 2023.1 [2号]

CONTENTS

第二期!盛岡という星で(編集部) インターンシッププログラム

- 盛岡という星で BASE STATIONの人々
- 菜園ごはん
- 小さい旅 by LITERS
- U.M.S まちの雑学
- フォトエッセイ
- SANSA2303開発室
- もりほし〇〇部 活動日誌
- 盛岡という星でタンキュー部
- 妄想道場
- スキマ酒場
- 盛星いろいろ応援団
- もりほし掲示板
- 4コマまんが「大いなる決断」
- 盛星BSの人々のつぶやき
- 盛星BSインフォメーション



特集  
外食派も、自炊派も。  
盛岡っこのごはん事情



灯油ってどこで買うんですか？  
外の天気でもたずねる調子で、訊かれた。  
秋口に採用された岩大生のアルバイト。茨城の実家では灯油を使わないという。  
寒いんです。そりゃあ寒いよ、冬が来るもの。そんな話をしたのが11月。  
今ではストーブの上が、鉄瓶やら土鍋やら実家から届いた干し芋やらで賑やかならしい。ようこそ、北国へ。あったかぬ。

instagram @planet\_morioka  
facebook @planet.morioka  
twitter @planet\_morioka  
website planetmorioka.jp

「盛岡という星で」プロジェクトの詳細は公式ウェブサイトにてご確認ください。

#北国 #石油ストーブ #冬 #岩手県公営会



vol.3 かげやま けいこ 影山桂子さん



Q. 盛星との出会いは？  
A. 憧れのデザイナーさんや、出身校の後輩、居酒屋でよく見かける顔など。なぜか知ってる人がたくさんいる場所でした。そして気付いたらLIVE配信に出るようになっていた、という…(笑)

Q. インターンシップにも参加しましたね。  
A. 盛星のインスタ作りでは、悩んで悩んで編集部に通いつめました。ようやく完成させた投稿にコメントが付いた時は、伝わった！よかった！って。申し込む時はすごく迷いましたが、ここから、なんでも参加してみよう、やってみようの人にならなると思っています。

Q. 「もりけん部」ではついに部長！  
A. 「盛岡もの譲り検定」をみんなで受検したくて企画しました。盛星BSには地元の資料もあるし、詳しい人もいっぱい。集まったメンバーもそれぞれ得意分野があって助かっています。今は「必ずみんなを甲子園に！」みたいな気持ちでドキドキ(笑)

Q. 今後の活動について教えてください。  
A. これからも編集部にまぎれこんでいたいんです(笑) 趣味の合唱のイベントを盛星BSで開催してみたいですね。公演だけじゃなく、合唱団に入りたい人向けに、いろんな団体が集まる機会を作るのもいいなと思っています。

ちょうどいい、を買うお店 「秤-HAKARI-」

よ市もまもなく閉業、え、今日はあわびの酒蒸し即売会?! そんな11/19の、材木町。向かったのはオープンしたばかりの「秤-HAKARI-」です。  
お店のあちこちで、はかる、はかる、はかる。自分の欲しい分だけ。使う分だけ。試す分だけ。そして、はなす、はなす。どうやって使う? なでできる? どう違う? 自分が欲しいものはコレを、このくらい! ってわかるためには、いろんなことを知りたい。話をしながら買う、ってやっぱりいいよね。



© 全編はこちらから [https://litters.jp/minitrip\\_hakari/](https://litters.jp/minitrip_hakari/)



「Valo」盛岡市菜園

U.M.S Unknown Morioka Story まちの雑学

日本のりんご生産の半分以上を占める人気果「ふじ」。この品種を生んだ最初の一本、つまり原木は盛岡市内にあるんです。世界中で作られているものすごい数のふじの木が、すべて直接または間接的にこの原木の枝を接ぎ木されているというからすごい! そもそもは青森県藤崎町にあった農林省園芸試験場で育ったもので、施設(※1)が統合された際に盛岡に移植されたんだとか。ちなみに袋をけがずに太陽に当たって育ったふじが「サンふじ」だというものはじめて知ったのです。



「ふじ」が誕生したのは青森県で、盛岡に移植されたのが1961年。栽培用のりんごの木は、種からではなく接ぎ木で増やすので、世界中のふじが盛岡にある原木の言わばクローン。(写真はふじのりんご畑)

## 盛岡っこの 盛りまし 通信

### 外食派も、自炊派も。

#### 盛岡っこのごはん事情

言いはじめたら止まらなくなる、街のおいしいアレとかコレとか。これが盛星フォロワーのリアルな声!

#### 河南エリア

中ノ橋通・肴町・八幡町・南大通

- 「肴町のミッシェルのアップルパイ!」
- 「ミッシェルのサンド系のパンと、サーターアングァー」
- 「ミッシェルは定期的に覗いて新商品をチェック。イチオシは木いもこのパイ」
- 「平船精肉店のチキンはクリスマスの定番!」
- 「夏は必ず南大通の佐藤水店のかき水です」「佐藤水店のお焼き」
- 「こていのポテサラ。内緒にしたい!」
- 「紅茶の店しゅんのスコーン。マーレードをつけたり、バターをつけたり。もちろん紅茶ともバッチリ」
- 「南大通のすの家で釣りどんこ。このネタが好きすぎて!」

#### 大通・菜園エリア

「三寿司の納豆巻き」「三寿司の裏巻」

「白子!!左近という居酒屋さんで食べた白子の味、忘れられません」

「チロルのチーズケーキ。あれは、雪。口溶けやばい。あんまり口溶けが美味しいチーズケーキはない。めっちゃ美味しい!」

「昼休みに食べるかしわやの蕎麦が沁みる」

「孫家の麻婆豆腐が旨辛」

「しょうが焼きやのしょうが焼きで元気100倍」

「いいことがあってもなくても小鉄でホルモンを焼く」

「シトロンのアップルパイは最強!盛星BS上のかわとく香番館に定期的に販売されているのでつい買ってしまいます」

「TAWARAの定食」「柳家の岩手山(小)」

「オンディヌのナポリタン」

#### 上田・高松・梨木町・長田町エリア

「ガロパン。高校生の時、テスト期間はいつも寄って帰って、腹ごしらえをしてからテスト勉強してました!ミルク味の細長いパン…甘くて美味しくて大好きです!」

「夜のマッピーカレーが優しい」

「中央病院の近くのデイリーの近くのお団子屋さん。こしあん、粒あんの団子があり、個人的にはこしあん派。団子もあんこも美味しい!すぐに売り切れます」

「定番ですが福田パン」

#### 本町・内丸・櫻山エリア

「機屋のシュークリーム」

「ちきゅうやのカレーが癒し」

「戸塚珈琲店のプリンが大好き」

「大陸飯店、安くて美味しい!」

「小腹が空いた時の毎月堂のだんご」

「サブールのクリームパン」

「22時過ぎのりーべで飲む紅茶はほほほ」

「ア・ラ・モンタン」

「やっぱり、白龍じゃじゃ」

「鍋道業の塩レモン焼きそば。エビマヨ、焼きチーズも好き♡ビールジョッキがキンキンで嬉しい」

#### 紺屋町・神明町エリア

「平日昼に食べる米内の生ラム定食が格別!」

「冷麺は肉の米内が1番好きです!」

「関口屋菓子舗の石衣」

「ダスコのキャロットケーキ。レモンタルトも、最高」

#### 仙北エリア

「もりしげの冷麺」

「ブッチャー軒の塩ホルモン。仕事終わりに友達と合流してお腹いっぱい食べるのが幸せ!」

「仙北駅近くおれんじというパン屋さんのエビフライサンド。手のひらよりも長いエビフライがドーンと挟まれ、上にはタルタルソースがたっぷり。夕方はお買い得になる事も」

#### マルイチ

「中ノ橋通店。店内産直ではあの有名シェフにも遭遇!」

「中ノ橋通店。産直コーナーが充実してるから」

「梨木町のマルイチ。家から近くて通う場所。岩手高校が隣にあるので、夕方は部活帰りの高校生がたくさん」

#### ジョイス

「土曜日、玉子が安くて感謝」

「肉を買いだときはジョイス」

「ジョイス本町店、ベルフ山岸。中津川散歩中よく寄りました」

#### ユニバース

「松園店はお酒売場が充実O」

「みたけ店は広くて何でも揃ってる!楽しい!週末の楽しみ」

「みたけ店は営業時間の長さも品揃えの多さから、ピンポイントに欲しいものが手に入るため重宝しています」

#### その他

「山岸のピーターパンのクリームパイ。盛岡に行ったら絶対食べる」

「お母さんの作った唐揚げ」

「仕事終わりのじゃじゃ麵。お店のこだわりは、コンビニのじゃじゃ麵もよく食べます」

「やっぱり盛岡冷麺!」

「盛岡に帰ると必ず食べます。あの麺のコンとスープの味は、やっぱり本場でしか味わえません」

「緑が丘の薬玉堂は有能(旧生協)悪天候の際、地下駐車場から行ける」

「寛治の大地館。地元のものがあるし県内でも知らないものが置いてあるから」

「産直(上田のビッグハウスの近く)。焼き芋がとっても美味しい。どれにするか迷えるのも楽しい。珍しいお魚やお買い得商品も!」

「産直併設で大きすぎないスーパーが買い物やすく好き」

## 第二期!盛岡という星で(編集部)インターンシップ・プログラム

★目玉はテーマ別の「ゼミ活動」! 第一線で活躍するクリエイター陣から、企画や編集について直接まなべるプログラム。二期目となる今回は、豪華な講師が次々登壇する「講義編」と、チームに分かれてユニークな作品づくりにチャレンジする「ゼミ編」の二段構えとなりました。

### 講師陣

各ゼミのメンターを務めるのは豪華なクリエイターのみなさん。

- 古川誠さん** (スターズ出版 株式会社 オスマガジン/メトロミニッツ 編集長)
- 桃生和成さん** (一般社団法人 Granny Rideto 代表理事)
- 川戸崇央さん** (株式会社 KADOKAWA タ・ヴァンチ 編集長)
- 今井雄紀さん** (株式会社 ツイ 代表取締役 編集者)
- 清水真介さん** (合同会社 ホーム シックデザイン 代表 盛岡という星で クリエイティブディレクター)

### 講義編

★密度ぎっしり 講義編

あの全国誌の編集長が目の前に!? そんな夢のような講義が全部で5プログラム。企画のコンや編集のツボ、情報発信の動ドコロがぎゅぎゅに詰まった賛沢すぎる2日間でした。

▲経済の 슬라이드量で魅せる古川さんや、思わず悪さ込まれる今井さんのエンタメプレゼンなど、講師のみさんのキャラクターもそれぞれ。

▼内容の濃さと講義5連発というボリューム、あまりの密度に消化するのが大変なほど。それでも真剣に聞き入るインターン生たち。

### ゼミ編

★じっくり取組むゼミ編

講義でしっかり学んだ後は、あらかじめアウトプットの決められた各ゼミでチーム活動!課題そのものを更新しちゃうたゼミ、いきなりバンドメンバーを集め始めたゼミなど、それぞれ楽しくまじめに頑張っています!

- 古川ゼミ MISSION** 巨大MAP開発と盛岡の商品リサーチ 途中で変更! ↓ オリジナル商品開発!
- 桃生ゼミ MISSION** へんでこイベント! 彼のゼミとは一風変わった個性を放つマイペースゼミ。勝負服でZINE、趣味を探す男、盛岡名物バンドと、アウトプットもひとクセあるものばかり…(笑)
- 川戸ゼミ MISSION** 文芸作品! 未経験者も含めて全員が「小説」に挑戦する川戸ゼミ。「ダ・ヴァンチ」編集長から直々にフィードバックをもらえるなんて、賛沢すぎなのでは…!
- 今井ゼミ MISSION** 取材型 ZINE! 敷居の高さに尻込みしていたBARに次々突撃してみたルボZINEから、盛岡を囲む「山」を見つめなおすアーシーなZINEまで、初期衝動をそのまま編集!
- 清水ゼミ MISSION** 盛星 SNS 新コンテンツ! 盛星クリエイティブディレクターのもと、王道のSNSコンテンツに取組むメンバーたち。課外活動やプレストを繰り返し、目に見えて企画力が養われました。

▲手紙付きやレシビ付きなど、メンバーそれぞれがデザインしたラベルは全5種類。

▲リサーチという名のもとに、盛岡散策を楽しんでもらいました(笑)

▲盛星ファンに楽しんでもらえる作品を作る、責任重大なゼミでもあります。